

# 上場申請のための有価証券報告書の訂正事項分

株式会社 太陽工機

**【表紙】**

**【提出書類】** 上場申請のための有価証券報告書の訂正事項分

**【提出先】** 株式会社ジャスダック証券取引所  
代表執行役 殿

**【提出日】** 平成19年11月29日

**【会社名】** 株式会社 太陽工機

**【英訳名】** T A I Y O K O K I C O . , L T D .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 渡 辺 登

**【本店の所在の場所】** 新潟県長岡市西陵町221番35

**【電話番号】** (0258)42-8808

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 幸 田 敏 夫

**【最寄りの連絡場所】** 新潟県長岡市西陵町221番35

**【電話番号】** (0258)42-8808

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 幸 田 敏 夫

1 【上場申請のための有価証券報告書の訂正事項分の提出理由】

平成19年11月13日付をもって提出した上場申請のための有価証券報告書の記載事項のうち、記載内容の一部を訂正するため、上場申請のための有価証券報告書の訂正事項分を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報.....	1
第1 企業の概況.....	1
3 事業の内容.....	1
第2 事業の状況.....	2
4 事業等のリスク.....	2
(8) 法的規制等について .....	2
(13) 株式会社森精機製作所グループとの取引について .....	2
6 研究開発活動.....	3
(3) 主要な研究開発課題 .....	3
研究開発の基本方針 .....	3
第4 提出会社の状況.....	4
6 コーポレート・ガバナンスの状況.....	4
(1) 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備状況 .....	4
内部監査室 .....	4

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罪で示してあります。

(ただし、「第一部 企業情報 第1 企業の概況 3 事業の内容」については下線を省略しております。)



## 第2 【事業の状況】

### 4 【事業等のリスク】

#### (8) 法的規制等について

(訂正前)

当社の扱う研削盤は、大量破壊兵器等の開発に用いられるおそれのある貨物として、国際的な輸出管理の枠組みにより、外国為替及び外国貿易法の規制を受けております。

これに対して、当社では輸出管理委員会(委員長：代表取締役社長)を設置して本規制に違反することがないように組織的に対応しております。具体的には、輸出に関する申請及び案件管理を行い、毎月1回の委員会開催によって法環境動向の確認や他社情報の収集に努めております。

しかしながら、当社取組みが外国為替及び外国貿易法の規制を遵守できない場合には、法的な処分を受ける可能性があります。

また、国際的情勢の変化によって大量破壊兵器等の開発に用いられるおそれのある貨物の輸出規制が強化された場合には、当社の経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(訂正後)

当社の扱う研削盤は、大量破壊兵器等の開発に用いられるおそれのある貨物として、国際的な輸出管理の枠組みにより、外国為替及び外国貿易法の規制を受けております。

これに対して、当社では輸出管理委員会(委員長：代表取締役社長)を設置して本規制に違反することがないように組織的に対応しております。具体的には、輸出に関する申請及び案件管理を行い、毎月1回の委員会開催によって法環境動向の確認や他社情報の収集に努めております。

しかしながら、国際的情勢の変化によって大量破壊兵器等の開発に用いられるおそれのある貨物の輸出規制が強化された場合には、当社の経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

#### (13) 株式会社森精機製作所グループとの取引について

(訂正前)

当社は株式会社森精機製作所の連結子会社であり、良好な関係を築いております。当社は、独自で研削盤の製造・販売を行っておりますが、一部株式会社森精機製作所の連結子会社である株式会社森精機トレーディングを通じて海外へ販売しております。なお、同社への売上高は、前事業年度で347,771千円(販売シェア7.6%)、当事業年度で426,314千円(同7.8%)となっております。何らかの要因で、株式会社森精機製作所グループにおける営業戦略の変更等により、海外ユーザーの受注が減少した場合には、当社の経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(訂正後)

当社は株式会社森精機製作所の連結子会社であり、良好な関係を築いております。当社は、独自で研削盤の製造・販売を行っておりますが、一部株式会社森精機製作所の連結子会社である株式会社森精機トレーディングを通じて海外へ販売しております。なお、株式会社森精機トレーディングへの売上高は、前事業年度で347,771千円(販売シェア7.6%)、当事業年度で426,314千円(同7.8%)となっております。何らかの要因で、株式会社森精機製作所グループにおける営業戦略の変更等により、海外向けの販売が減少した場合には、当社の経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

## 6 【研究開発活動】

### (3) 主要な研究開発課題

#### 研究開発の基本方針

##### (訂正前)

当社の主力製品である立形研削盤は顧客が必要と求める精度・剛性の課題を解決するために独自に開発された機種であります。この例に見るように当社の研究開発の基本方針は顧客のもつ課題・悩みを解決することを基本としております。

幸い、永年培ってきたこの姿勢により、当社は技術水準を高めてまいりました。このような活動によって、解決困難な課題は当社に持込まれております。当社は前例にならない、今後とも顧客ニーズ解決に全力を尽くしてまいります。

##### (訂正後)

当社の主力製品である立形研削盤は顧客が必要と求める精度・剛性の課題を解決するために独自に開発された機種であります。この例に見るように当社の研究開発の基本方針は顧客のもつ課題・悩みを解決することを基本としております。

幸い、永年培ってきたこの姿勢により、当社は技術水準を高めてまいりました。このような活動によって、ユーザーからの様々な課題は当社に持込まれております。当社は前例にならない、今後とも顧客ニーズ解決に全力を尽くしてまいります。

## 第4 【提出会社の状況】

### 6 【コーポレート・ガバナンスの状況】

#### (1) 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備状況

##### 内部監査室

##### (訂正前)

平成18年4月より内部監査室を設置し、内部監査室長ならびに事務局員2名(管理部兼務)の計3名によって構成し、活動にあっております。主な活動内容は、内部監査計画に基づいて月1回各部の業務監査を実施し、改善事項の指摘・指導を行っております。

内部監査、監査役監査及び会計監査の相互連携については、それぞれの監査を通じてなされた指摘事項に対して共通認識を持つとともに、個別の具体的改善策について協議いたします。

##### (訂正後)

平成18年4月より代表取締役社長直轄の内部監査室を設置し、内部監査室長ならびに事務局員2名(管理部兼務)の計3名によって構成し、活動にあっております。主な活動内容は、内部監査計画に基づいて月1回各部の業務監査を実施し、改善事項の指摘・指導を行っております。

内部監査、監査役監査及び会計監査の相互連携については、それぞれの監査を通じてなされた指摘事項に対して共通認識を持つとともに、個別の具体的改善策について協議いたします。